

まちのなまえ①

## 「近江八幡」・「安土」

今回からは、市内の地名の由来を紹介します。初回は「近江八幡」と「安土」です。

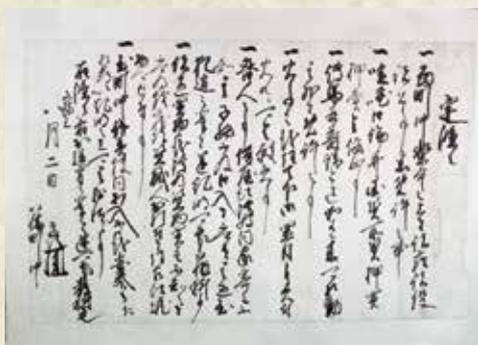
近江八幡市の元となる八幡町の名前ですが、八幡山（鶴翼山）の麓に鎮座する日牟禮八幡宮に由来します。古くは比牟礼社といい、応安4（1371）年12月8日の『目賀田玄向置文』に「日牟礼八幡宮」とあるのが八幡神社と記される早期のもので、そして天正13（1585）年、八幡山に羽柴秀次が築いた八幡山城の城下町が成立しました。当時は山城を〇〇山、城下町を〇〇山下町といったため、「八幡山下町」と呼ばれていたとされ

くから全国になじまれていた名であることなどから、「近江八幡」が市の名称に選定されました。

「安土」はいつから地名として使われ始めたのかは不明です。『安土地名傳記』では、「安土山は早くも佐々木氏時代に武備的設備また弓射場あり 此処の射場の表（塚）より安土の名が生ると言ふ」とされています。また、『信長公記』の元龜元（1570）年5月12日の条に「安土」と記されていることから、織田信長が安土城を築城する以前から安土と呼ばれていたと考えられます。天正4（1576）年に築城を開始し、城下に安土山下町ができました。しかし、安土城が廃城となると、安土山下町は城下町でなくなり、呼び名も元の常楽寺村、下豊浦村へと戻りました。その後、江戸時代に旧城下町を安土と呼称することはなく、再び安土が地名に

ています。「八幡町」の初出は、文禄3（1594）年の2代目八幡山城主・京極高次の掟書です。以降、江戸時代を通じて、また明治22（1889）年の町村制以降「八幡町」と称されました。昭和28（1953）年9月に施行された町村合併促進法により、翌29（1954）年3月31日、八幡町、岡山村、金田村、馬淵村、桐原村が合併し、近江八幡市が発足します。「八幡」と漢字表記する他の自治体と区別するため、国鉄近江八幡駅をはじめ、税務署、郵便局など官公署名としてすでに使用され、かつ近江商人発祥の地として古

使われるのは、明治22年の町村制施行による安土村の発足時でした。昭和29年4月1日に、安土村と老蘇村が合併し、安土町が発足しました。安土山が織田信長の居城以降、歴史上有名で永く親しまれている名であることや、官公署がいずれも安土の名を冠していることから、「安土」の名称が選定されました。



京極高次八幡町中掟書

広報おうみはちまんは、各自治会を通じてお届けします。また、各学区コミュニティセンターや図書館などの公共施設、郵便局、金融機関、セブン-イレブン・ファミリーマート各店舗などに置いているほか、市ホームページやマチイロ、マイ広報紙などでもご覧いただけます。

### 人口と世帯

令和5年3月1日現在  
( )は前月比

総数	81,855人	(- 53)
男	40,218人	(- 45)
女	41,637人	(- 8)
世帯	35,113世帯	(- 12)

※外国人住民(43か国・地域/1,811人)を含みます。

Facebook



YouTube



Instagram



マチイロ



マイ広報紙



LINE

